

# 清友

No. 56

2014年4月



満開の桜 (千鳥が淵)

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ4F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541

## 第7回定期総会 5月22日開催

### 第7回定期総会

- 〈日 時〉 5月22日 (木)  
午前10時受付
- 〈場 所〉 清掃会館ホール
- 〈議 案〉 ①活動方針 (案)  
②規約改正 (案)  
③旅費改正 (案)  
④会計予算 (案)  
⑤会費改訂検討案

### 総会懇親会

- 〈日 時〉 5月22日 (木)  
12時30分  
(総会終了後)
- 〈場 所〉 清掃会館ホール

委任状の提出をお願いいたします。委任状は返信用はがきに印刷してあります。

また、参加できない方は、4月25日までにお願いします。

既にお知らせしてあるように、第7回定期総会を5月22日に開催します。今年には役員改選の年です。昨年、目標の会員100名を一時的に超えました。今年もつと上を目指して活動を進めていきたくて考えています。組織強化へ向けた議論を深めるため、是非総会に参加してください。出欠の連絡は返信用はがきにより、4月25日までにお願いします。

今年も4月26日に中央メーデー、5月1日に日比谷メーデーが開催されます。東京清掃は例年同様、日比谷メーデー中心の対応です。退職者会も日比谷に全力で臨みます。中央メーデーは、幹事中心に代表参加で対応します。

5月1日の日比谷メーデーは今年も退職者会の隊列を組みます。特定秘密保護法を強行成立させた安倍政権は、「戦争のできる国」を目指して突き進むようとしています。日比谷メーデーは、STOP安倍！を内外にアピールする場です。

非正規化や人員削減で職場に余裕が全くなっているなど、メーデーを取り巻く環境は悪化しています。ここは全日制市民である退職者会の出番です。日比谷メーデーに奮って参加ください。

# STOP 安倍

# 参加しまし よう 日比谷メーデーに



昨年のメーデー

**上席**

1日(土)〜10日(月)  
1時開演 7日は1時と5時の開演

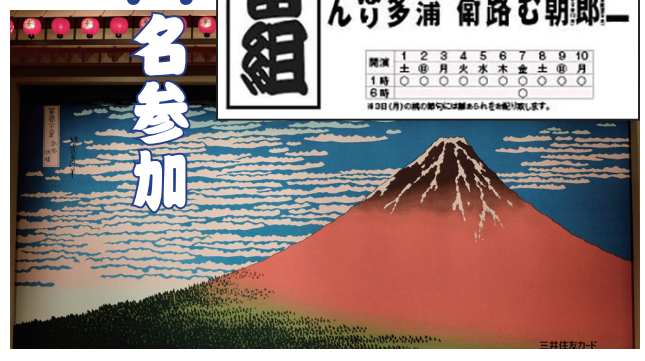


入船亭 遊太朗  
柳家 麟太郎  
香風亭 柳おさむ  
丸山 おさむ  
藤兵衛 藤兵衛  
桂 藤兵衛  
ストリート松浦 仲入り  
三遊亭 歌る多  
大空 遊草・かほり  
落語 柳家小里人

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
土	月	火	水	木	金	土	日	月	火
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

**国立演芸場3月番組**

**今年も大好評 17名参加**



昨年初めて試みて好評だった「演芸を楽しむ会」を、3月6日に開催しました。会場は国立演芸場、出し物は3月上席、落語6席、漫才1・声帯模写1・ジャグリング1席、古典落語を得意とする柳家小里人と桂藤兵衛が看板です。今年も、昨年出された要望を踏まえて弁当付、家族5名を含む17名が参加しました。

多少空席はありましたが、落語とその他の演芸を巧みに組み合わせた構成により飽きさせず、真打へ近づくとつれて盛り上がり、演者の熱演に観客も引き込まれて、ハラハラドキドキ、大爆笑あり、ほろりとすることありで、3時間余の上演時間が短く感じるほどでした。聞き慣れた噺は演者の個性が出て楽しく、通になつたような気分がします。2回目の試みでしたが、終演後の感想はまさに大好評、「年2回ぐらいいやってほしい」という声が上がりました。今年2回開催はとにかく、会場は国立演芸場か、浅草や上野、池袋の演芸場も視野に入れつつ、開催月は冬場が適当かなど、次回へ向けて、多くの会員が参加できるように改めて企画部会で検討します。

**東京都退職者協議会学習会**

3月9日〜10日、東京都退職者協議会(都退協)の学習会が市町村共済保養所「シーサイドいずたが」で開催され、戸張副会長が参加しました。

**異議あり！辺野古移設 基地との共存を拒否！**

講演した「へり基地反対協議会」共同代表安次富浩さんの話しは明快でした。基地振興策に頼っている限り、負担は仕方がないという考えを払拭できません。観光や東アジアとの交易中心の自立的持続可能な経済へ転換できます。仲井真知事は沖縄振興予算と引き換えに辺野古埋立を承認しました。県民の願いを踏みにじった知事を続投させることはできません。11月の知事選には沖縄の命運を賭けていきたいと訴えました。

**地域包括ケアの実現へ 高齢者の声反映を**

講師は自治退事務局次長の中西満さん(福祉退出身)。



講師の中西自治退事務局次長

世帯構造が変化して無縁社会が進み、独居・老夫婦世帯が急増、家族介護は追い詰められ、介護心中や高齢者の孤独死が増えています。超高齢化社会への備えが必要です。政府が国会に提出した医療・介護総合推進法案は、「地域包括ケア体制構築」の考え方はいいが、①要支援事業の市町村移管、②介護保険利用者負担の引上げなどは問題です。また、介護労働者の労働条件は劣悪なので定着せず、サービスが低下しています。地域包括ケアの実現に向け、自治体に高齢者の声を反映させる取り組みが必要です。今回の学習会は大変勉強になり、介護保険や医療制度などの社会保障制度改革に改めて感心をもちました。(戸張)



# 東京清掃主催退職者送別会

東京清掃主催の退職者送別会が3月14日、清掃会館ホールで開催されました。準備期間が短かったこともあって参加者はここ最近で最少でした。

吉田委員長によるねぎらいの詞に続き、北條会長が東京清掃の歴史を踏まえて挨拶し、庄司事務局長が退職者会の活動内容を紹介するガイダンスを行いました。瀨瀬副委員長の音頭で乾杯し懇親会に入り、和やかさを増したところ

で参加した退職者から想い出を話していただきました。

参加者全員で記念写真を撮り、名残を惜しみつつ大和田副委員長が閉会挨拶、今年に参加者が少なく残念でしたが、例年にもまして楽しい会になりました。



退職者の挨拶でかけあいも

## 清掃・人権交流会 品川ワールドウォーク



熱心に説明する和氣講師（天妙国寺）

3月2日、清掃・人権交流会主催の品川ワールドウォークが行われ、氷雨にも関わらず、東京清掃各支部、下請労組、

学生、部落解放同盟品川支部など34名が参加しました。地元の歴史研究家である品川区教育委員会和氣さんの案内で、旧東海道を品川から大森まで被差別部落と寺社、鈴ヶ森刑場跡等を訪ね歩きました。東海道が海際だったことや品川宿発展の痕跡を再発見できたり、非差別民が地域で重要な役割を担っていたこと、明治の解放令によりむしろ差別が顕在化したことなどに改めて考えさせられたり、楽しくも有意義な催しでした。

## 訃報

### 前会長渡辺昭之さん逝去

再建退職者会2

代会長の渡辺昭之さんが2月28日に亡くなりました。

渡辺さんは新宿西支部執行委員長、旧作業協会長などを歴任、退職後は、副会長、2代会長を務めるなど退職者会の発展に寄与しました。

昨年5月の定期総会では元気に特別挨拶を行い、会の取り組み方を提言されました。思えばこれが公式の場でお会



昨年の定期総会にて

## 退職者会 活動日誌

\*2月20日の第4回幹事会以降3月20日の第10回三役会までの活動

▼2月20日、企画部会と旅行部会を合同開催、演芸鑑賞会とお花見ウォークの実施細目と次期旅行会を検討。  
▼2月21日、都庁退組強化事務局長会議に庄司事務局長が参加、各単会の新会員獲得の取組みが報告。  
▼2月21日、一組総支部新春交歓会が主婦会館で開催、戸枝会計が参加。  
▼2月25日、狭山事件の再審を求める東京集会、集会の様子は3月号で報告。  
▼3月2日、清掃・人権交流会主催の品川

ワールドウォーク、内容は別記報告。  
▼3月6日、演芸鑑賞会に17名参加、催しの模様は別記報告。  
▼3月9日、日比谷公園と国会前で原発ゼロ大統一行動。  
▼3月9日～10日、東京都退職者協議会学習会に戸張副会長が参加、内容は別記報告。  
▼3月14日、東京清掃退職者送別会、内容は別記報告。  
▼3月15日、「フクシマ連帯キャラバン行動」と「さようなら原発大集会」、頑張りました。  
▼3月20日、第10回三役会で総会議案等を検討、三役5名参加。  
▼事務局長会議・事務業務は6回。





# 福島原発事故から3周年 脱原発の願いは更に強く

福島原発事故から3年経ちました。福島では放射線量は相変わらず高く、甲状腺がんの被害が出はじめています。

それにも関わらず東電も政府も責任をとろうとせず、再稼働を急ごうとしています。

3周年の節目に闘いの更なる強化へ結びつけようと、全国各地で脱原発の取組みが行われ、東京では3月9日の「原発ゼロ☆大統一行動」に3万人、3月15日の「さようなら原発キャラバンと大集会」に6千

人が結集しました。

小泉元首  
相や維新の

会ですら脱原発の姿勢を示しているように、脱原発運動は確実に広がっています。

誰かの犠牲の上に成り立っている原発依存社会は変える必要があります。退職者会は、9日の国会包囲は自主参加で6名、15日のキャラバンに3名、日比谷集会に9名参加し、脱原発の必要性を訴えました。



3.9脱原発国会包囲行動



## 戦争をさせない 1000人委員会出発集会

解釈改憲によって日本を戦争へ参加できる国にしようとする動きを止めるため、憲法学者や文化人、弁護士等が呼びかけた「憲法を破壊する集団的自衛権の行使反対！戦争をさせない1000人委員会」出発集会が3月20日、日比谷野音で開催されました。

冷たい雨の中4千人が結集し、熱気のある集会になりましたが、それだけ危機感が強いということです。私たちも、自治退の方針に則して、千人委員会の取組みに積極的に関わっていききたいと思えます。



## 広州労働研究交流報告会



会員の山崎精一さんが事務局長を務めた広州労働研究交流団の報告会が3月21日、明治大学で開催されました。昨年11月、日本の労働運動活動家、研究者、弁護士等15名が中山大学の招きで広州市等を訪れ、中国の労働者や組合（工会）、NGO、研究者や弁護士と直接交流し、中国の現状を視察した報告会でした。

ゆっくりだが確実に進む民主化の状況やストが続発する背景、劣悪な農民工（出稼ぎ労働者）の現状、派遣労働者の待遇等が報告されました。官製でも紐付きでもない今回の取組みは、日中労働者連帯の新しいステップになると思わせるものでした。